

# かつてない豪雨がまちを襲う

7月18日豪雨災害



地元住民とボランティアセンターが協力して被災家屋を清掃（金持）

梅雨前線の停滞による7月18日から19日にかけての大雨により、西日本各地に大きな被害をもたらしました。まちでは、18日夜から降り続いた総雨量が根雨で340mmに達し、

山からの土砂崩れや川の水位上昇による床上・床下浸水が発生しました。また、国道、町道などでの土砂崩れや道路の崩落などの災害が発生しました。

## 7月18日集中豪雨被害状況(7月28日現在)

日野町災害対策本部設置状況：19日午前1時設置 同日午後6時廃止、総雨量（7月19日午後5時現在）：根雨340mm、黒坂319mm、床上浸水：1棟、床下浸水：4棟、最大避難者数：24人（8世帯）農地被害：水田法面崩壊4か所、農道：法面崩壊5か所、水路：法面崩壊7か所、取水せき：崩壊3か所、林道：法面崩壊など10か所、町道：法面崩壊など32か所



いたるところで土砂災害が発生

# まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。  
☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

## みごと3位入賞！

県消防ポンプ操法大会



一斉に操作開始。この機敏さが勝負を分ける



整然と整列する選手たち

7月16日、第52回県消防ポンプ操法大会が、県消防学校（米子市）で開かれ、県内の予選を勝ち抜いた選手らが出場しました。

大会では、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部が行われ、選手はポンプ車または小型ポンプを使って火点（標的）に向けて放水し、終了するまでの一連の動作の正確さや機敏さ、所要時間などを競いました。

町消防団からは、ポンプ車操法の部に、7月2日の西部大会で準優勝した第1分団が出場し、日頃の訓練の成果を発揮、卓越した操法技術を披露し、みごと3位入賞を果たしました。

出場団員氏名（敬称略）  
指揮者：継岩亨（副分団長） 1番員：藤原康洋（団員） 2番員：奥田研二（団員） 3番員：谷口若雄（班長） 4番員：西村和宏（団員） 補助員：佐々木信也（団員）

## 本番に向けてがんばります！

### 町民ミュージカル出演者説明会

12月に公演する町民ミュージカル「けい太の見た夢の中」長楽寺の不動明王」の出演者説明会が、7月14日、町文化センターで開かれました。

説明会では、応募した出演者

28人を前に、ミュージカル実行委員会の田口亨会長が、平成14年の国民文化祭からはじまったこの町民ミュージカルも今年で5年目になり、まちの皆さんの中にもファンになってくださる人がどんどん増えていきます。指導する先生の言うことをよく聞いて、12月には素晴らしい舞台を見せてください」とあいさつし、講師らの紹介のあと、さっそく1回目の稽古が行われました。



大人も子ども一緒に笑顔で歌う練習！

稽古では、歌唱指導の長谷川愛さんのピアノに合わせて、基本的な発声練習や口の開け方などの指導を受け、作品で歌う曲の練習も行われました。

出演者は、12月の公演に向けて、これから毎週文化センターで稽古を重ねていきます。



「先生、つかまえたよ！」満面の笑顔で報告

## 子どももアユも元気いっぱい

### 保育所アユつかみ

子どもたちに魚とのふれあいを通じて自然環境に親しみ、その大切さを感じてもらおうと、アユつかみ（町水産振興連合会主催）が、7月25日、町内の保育所で開かれました。

浅く水を張ったプールにアユが放され、園児たちは歓声を上げながら元気いっぱいのアユをつかんでいました。

つかんだアユは、から揚げにしてこの日の給食時間にみんなでおいしく食べました。

## 年に一度の音楽の祭典

### 日野郡バンドフェスティバル

吹奏楽団同士の交流と練習成果の発表のため、第2回日野郡バンドフェスティバルが、7月29日、町文化センター・ホール森の音楽隊で開催されました。

日野中学校と江府中学校の吹奏楽部が数曲を披露したほか、ゲストの県警音楽隊も力強いサウンドを聴かせました。

最後には出演者全員の合同演奏があり、舞台いっぱい楽器が奏でる迫力の演奏に、客席からは大きな拍手が送られました。



大迫力！約70人による合同演奏